

「遠軽の開拓とキリスト教、無牧師の遠軽教会に救い主の光を」

遠軽教会長老 菊地利男

昨年2019年秋、大会応援伝道の講師に南純教師（元房総君津教会牧師）を迎えて行いました。講師の南純牧師は、幼少の頃から、南正義（母の生家）宅より遠軽教会に通われたのです。町内には、当時の同級生、また、従兄弟に当たる者も大勢居ます。この機会に、広く一般町民にも、特別講演会や伝道応援礼拝にも参加頂こうと考え、開催ポスターを作製し、商店街、JR遠軽駅、バス会社、図書館、郷土館、救世軍遠軽小隊、カトリック教会等にポスターの張り出しを願い、新聞折込を2回、それに全国各地の日本キリスト教会宛にはがきの案内を発送、教会前には、教会員の筆書きによる立て看板2枚を立てました。その外、参加希望者で交通手段の無い人には、会員の協力を得て、自家用車を手配しました。

9月7日（土）夕、伝道応援礼拝の前日、「特別講演会」を遠軽教会に於いて、開催しました。「大正・昭和期の遠軽教会と家庭学校」を演題に、約1時間半に亘り、遠軽教会の設立に携わり、貢献された者たちの歴史を時系列順に説明され、教会を中心に、交通機関としては特に鉄道の敷設運動を進めたこと、また、青少年に対する教育を重視する先駆的取組みがなされたことなどが語られました。北海道家庭学校の設立に留岡幸助の果たした功績が示され、その教訓をも明らかにされました。特筆すべきは、留岡幸助と山下善之牧師による相互訪問交流を通して、日本基督教会関係者との交流が進められ発展したことが取り上げられ、講演を終えられました。参加者は、教会員19名、



他教会員、一般の方20名の計39名でした。

9月8日（日）伝道礼拝説教は、「来たれ、疲れた者、重荷を負う者」（マタイによる福音書11章25-30節）であり、その説教は、馴染み深い主イエスの豊かな愛に満ちた、奥深い説教であり、まことに感謝の心を持つことができました。礼拝後に愛餐会として昼食を和やかな雰囲気の中で持ち、教会員と南純牧師の間で豊かな交流が与えられました。伝道礼拝の参加者は30名を数え、普段の礼拝の2倍に当たり、愛餐会は19名でした。

無牧師の教会となって8年、教会として引退牧師の方々の応援を頂き、講壇を何とか維持してきましたが、教会内外への対応を考えると、牧師が常駐していることがどうしても必要です。2003年（平成15年）には、牧師館を会堂とは別建てで、教会敷地内に新築しました。入居者である牧師の就任を切望しています。北海道中会並びに全国からの吉報をお待ち申し上げます。

「真理はあなたを自由にする。」

長崎伝道所委員 山 永 薫

主の御名を讃美いたします。2019年大会伝道局からの応援を頂いて実施しました秋の伝道礼拝について報告いたします。実施日は、昨年(2018年)の11月10日(日)の礼拝を伝道の時として行ないました。講師として日本キリスト教会西経堂伝道所の牧師五十嵐喜和先生に来ていただきました。その時の説教題は、「真理は、あなたを自由にする。」で、聖書の箇所は、ヨハネによる福音書8章31節～38節でした。礼拝の出席者は、28名(内訳は、男性9名、女性19名)。その内求道者は8名でしたが、初めての方はいませんでした。

講師は、穏やかな中にも凜とした口調で聖書の御言を説いてくださいました。初めて知りましたが、説教で国立国会図書館東京本館2階図書カウンターのヒサシ部分に「真理がわれらを自由にする」という言葉が書かれているということです。後にインターネットで国立国会図書館を検索して調べましたら、講師も話されましたが、当時の参議院図書館運営委員長羽仁五郎がドイツ留学時、留学先のフライブルク大学の図書館の建物に刻まれていた銘文「真理は人を自由にする」に感銘を受けて創案したもので、この句は新約聖書ヨハネによる福音書8章32節「真理はあなたたちを自由にする」に由来していると、更に国立国会図書館法の理念は、その前文で「国立国会図書館は、真理がわれらを自由にするという確信にたって憲法の誓約する日本の民主化と世界平和とに寄与する

ことを使命としてここに設立される」と、その設立理念を明らかにしていると書かれていました。

ところで当伝道所は、崔牧師が来られて毎年6月と10月か11月に伝道礼拝を2回、中会や大会の応援などを受けて実施しています。毎回伝道礼拝の案内チラシを手作りで数千枚から1万枚外注で印刷をお願いして、2ヵ月程前から教会周辺の住宅に礼拝後や朝の祈祷会後に配って伝道礼拝への出席の勧めと教会の所在を知らせるために行なっています。それに合せて以前教会に来られた方にはチラシを郵送します。今回も1万枚を配布しましたが、初めての方は来られませんでした。しかし、これまでにはチラシを見て来られた方が数人いますし受洗をされた方もいます。でも最近ではネット社会となり多くの教会がインターネット上に教会のホームページを掲載している中でネットの利用も一つの方法ではないかと思えます。現にネットで探されて教会を訪ねてこられた方もいます。

嬉しい報告ですが、今年のイースター礼拝で二人の姉妹の信仰告白式と受洗式が行なわれました。一人は、崔牧師の子女で、もう一人は、母親がずっと祈り願っていました子女です。二人とも日曜学校で育った中学3年生です。教会にとっては大きな喜びでしたが、新型コロナ・ウイルスの感染対策で感謝会は少人数で行なうことになりました。

少子化と高齢化の社会で教会の伝道は、色んな課題を与えられています。これをすれば全てが解決する方法などは無いと思いますが、ただ言えることは、神様が何を求めておられるのか御言に聴きつつ祈ると同時に悩む私たちのために神様が祈ってくださり導いてくださることを信じることだと思います。

今、大きな問題は、疫病の影響をどう考えてどう対応して行くかを神様に問いつつ社会の中で教会として何を担って行くことが出来るのかだと思います。



「観音寺教会の現況と大会応援伝道」

観音寺教会長老 高井紀代

無牧師の状態も丸3年となりました。礼拝は他教会の先生方の応援で、一度も休むことなく守られています。この1年を数えてみますと、12人の先生方の応援をいただいています。毎月第1、第2、第3主日はそれぞれ高知旭の青木先生、尾道西の山本先生、高松の植田先生が通ってきてくださいます。第4と第5は、遠くは大阪西の中家先生、広島長束の井上先生、岡山の三瓶先生、徳島の岡田先生、そして日本基督教団の先生方が、それぞれご自分の教会の礼拝を終えて、その後駆け付けてくださいます。

過去10年間に現住陪餐会員は6割減（26人→10人）、通常会計収入も6割減（607万円→240万円）となりました。頼りにしていた長老方も病気等で4人が辞められ、2人新入りで3名（欠員1名）です。

なんとも心許ない状況ですが、このような観音寺教会も、2019年は伝道開始90周年を迎える記念すべき節目の年でありました。何の計画も持たずにいたわたしたちに声をかけてくださったのが高知旭の青木先生でした。ここ3年の間、無牧師の観音寺教会の指導教師として関わっていて、月1回、高知での礼拝を終えた後、高速バスで1時間の地にある観音寺を訪れ、午後3時からの説教奉仕・聖餐式執行・礼拝後の小会議長を勤められ、諸々の教会・牧会に関する相談にのってくださっています。その高知旭教会も実は2019年に創立110周年を迎えるので、合同で大会応援伝道を行ってはお誘いを受けたのです。

特別伝道礼拝すらもう長い間行うことができなかつたわたしどもです。一から教わりながらの準備

でした。講師として上山修平先生をお招きできることが分かり、どうPRしようかと考えました。半年前からいよいよ具体的に動きだし、全国諸教会への案内ハガキ150枚送付、チラシを作成して新聞折り込みに約1万枚頼みました。実働人員3人、IT機器操作もままならない観音寺教会のメンバーの動きを見かねて、高知旭の執事さんまで手伝ってくださいました。感謝です。おかげで当日は、男11人、女9人、計20人といつもの倍の出席者でした。

11月17日、上天気の中、上山修平先生をお迎えして、ルカによる福音書を通して「人生に手遅れはない—気付くのを待って下さる神」とのお話を伺いました。出席者の中に日曜学校以来の出席ですという方がおられました。説教の中の「私の下に立ち返りなさい」と語りかけてくださった神さまの言葉を受けとめていてくださるようにと願います。また、チラシを見たのでと新来者が1人来られました。残念ながらその後は来会していません。住所を聞き洩らし、後の連絡がつけられなかったのは、こちらの不手際でありました。

時間の都合で、ささやかな茶話会しかできなかったのですが、先生のお人柄で楽しいときを持つことができました。

多くの方々の手助けと励ましのおかげで、なんとか大会応援伝道を成し遂げることができました。本当にありがとうございました。

色々な困難な問題も“あなた達なら乗り越えることができる”との神様のご配慮かと思われまふ。教会員一同心を一つにして頑張つてまいります。どうか皆様のご加禱をお願いいたします。

会計報告、教会別献金総額

会計報告

(単位:円)

科 目	2018年		2019年		備考
	(1月1日-12月31日)		(1月1日-12月31日)		
	予 算	決 算	予 算	決 算	
(収入の部)					
大会伝道献金	6,100,000	6,406,500	6,000,000	6,082,130	
個人団体献金	2,400,000	2,485,400	2,400,000	2,422,237	
雑収入	500	275	500	476	
運用資金より	1,800,000	1,469,796	1,900,000	1,678,871	
伝道局基金より	0	0	0	3,000,000	
合 計	10,300,500	10,361,971	10,300,500	13,183,714	
(支出の部)					
伝道地補助金	7,290,000	7,290,000	7,290,000	7,340,000	(注1)
大会応援伝道費	1,000,000	1,238,826	1,000,000	547,528	
問安費	600,000	584,233	600,000	662,560	
開拓伝道準備費	100,000	0	100,000	330,908	
事務費	400,000	385,623	400,000	446,582	
理事会費	900,000	863,289	900,000	856,136	
予備費	10,500	0	10,500	0	
運用資金へ				3,000,000	
伝道局基金へ		0		0	
合 計	10,300,500	10,361,971	10,300,500	13,183,714	

注1 「伝道地補助金」(7,340,000円) 九州中会への旅費補助 250,000円
 沖縄伝道所 240,000円×16月=3,840,000円
 岡山伝道所 200,000円×16月=3,200,000円
 岡山伝道所 大会出席旅費補助 50,000円

48	世田谷千歳	72,700	92	池田	111,720
49	習志野	109,760	93	豊中央	76,440
50	南浦和	92,120	94	宝塚壳布	70,760
51	南柏	90,160	95	西宮中央	267,840
52	東京主僕	68,100	96	夙川	98,560
53	小平	93,580	97	住吉	72,520
54	袋井愛野めぐみ	22,880	98	神戸布引	49,280
55	東京告白	24,000	99	神戸湊西	111,720
56	仙台黒松	82,320	100	明石大久保	52,920
57	宇都宮松原	63,200	101	新宮	53,200
58	磐田西	47,520	102	出雲今市	19,360
59	大和	68,600	103	尾道西	36,960
60	上田	58,800	104	広島長束	54,880
61	荻窪北	28,160	105	徳島	36,960
62	府中中河原	51,500	106	観音寺	29,920
63	上溝	9,200	107	高知旭	73,307
64	大宮東	8,340	108	岡崎	9,560
65	静岡池田	22,240	109	近江草津	9,730
66	恵泉	11,120	110	奈良	6,950
67	東京中央	27,800	111	泉北	13,900
68	金目	8,340	112	神戸桜が丘	15,290
69	稲田堤	25,020	113	加西	29,190
70	西経堂	22,240	114	姫路	9,730
71	古河	11,120	115	岡山	25,020
72	郡山	12,500	116	米子	13,510
73	下館	8,340	117	高松	16,680
74	福島	8,340	118	下関	31,680
75	多摩ニュータウン永山		119	大分中央	25,550
		27,800	120	小倉	30,000
76	志木北	23,630	121	志免	11,000
77	つくばひたち野	18,070	122	福岡城南	168,480
78	名東	188,000	123	福岡筑紫野	21,120
79	岐阜	123,480	124	久留米	45,760
80	大垣	82,320	125	柳川	19,360
81	大垣荒尾	32,500	126	佐賀めぐみ	26,400
82	亀山	17,600	127	島原	14,480
83	福井宝永	21,120	128	折尾	8,340
84	吉田	80,360	129	八女	6,950
85	西都	99,960	130	熊本	0
86	高槻	86,240	131	長崎	24,630
87	香里園	93,500	132	沖繩	9,730
88	大阪北	87,320	133	宜野湾告白	3,000
89	大阪西	129,600	134	九州中連婦	10,000
90	大阪姫松	203,000			
91	北田辺	20,400		総合計	8,891,900

2019年度教会別献金総額

(2019年1月1日～12月31日)

	教会名	24	夕張	5,560	
1	函館相生	153,360	25	美瑛	0
2	札幌北一条	511,920	26	札幌手稲前田	4,170
3	小樽シオン	68,600	27	北松山	4,000
4	旭川	105,840	28	富良野	19,460
5	北見	76,440	29	北広島山手	34,750
6	遠軽	35,200	30	奈井江	8,300
7	滝川	56,500	31	稚内萩見	16,680
8	聖園	29,400	32	大森	161,000
9	室蘭	70,560	33	蒲田御園	131,760
10	伊達	38,720	34	鶴見	383,440
11	美深	3,520	35	横浜長老	133,920
12	苫小牧	44,000	36	横須賀	26,400
13	遠浅	42,240	37	湘南	78,400
14	札幌琴似	142,560	38	秋田	58,800
15	札幌桑園	108,200	39	柏木	398,000
16	札幌豊平	26,000	40	栃木	82,320
17	札幌発寒	64,680	41	小山	15,840
18	釧路	40,480	42	浦和	181,440
19	札幌白石	40,480	43	房総君津	49,280
20	森林公園	51,040	44	横浜海岸	367,200
21	佐呂間	21,120	45	茅ヶ崎東	119,960
22	帯広	29,920	46	豊島北	62,720
23	森	2,780	47	鎌倉栄光	92,120

今年度前半の大会応援伝道

静岡池田伝道所 7月19日(日)

講師 田部 郁彦(西都教会牧師)

稚内萩見伝道所

8月30日(土)～31日(日)

講師 齋藤 修(磐田西教会牧師)